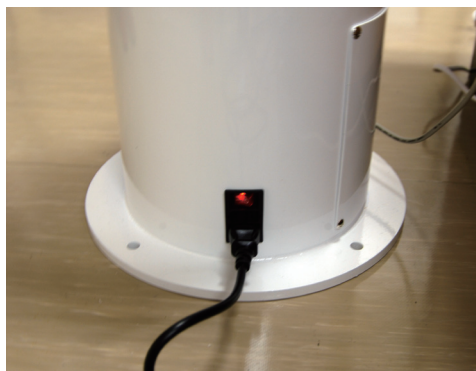


福島県放射能簡易分析装置 簡易マニュアル『RAD IQ FS200』 1/2

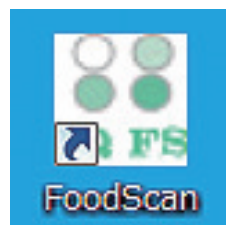
1 【本体の電源とウォーミングアップ】

本体の電源スイッチを「ON」にした後、30分間何もせずにウォーミングアップさせます



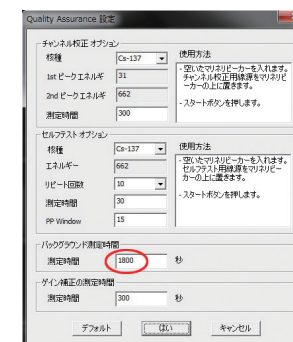
2 【アプリケーションの起動】

パソコンの電源を入れます
『Food Scan』アイコンをダブルクリックして起動します



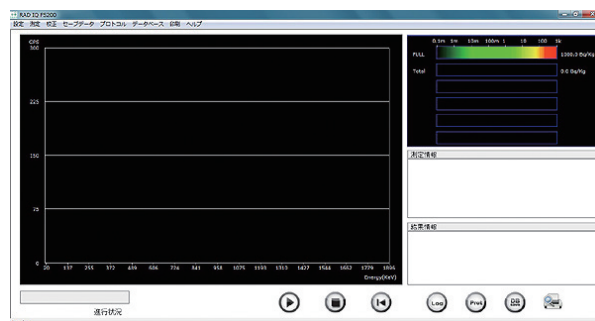
3 【パラメータの設定】

メインメニューの『設定』をクリックし『QA設定』を選択して、「バックグラウンド測定時間」欄に「1800」と入力します
一度設定すれば変更する必要はありません



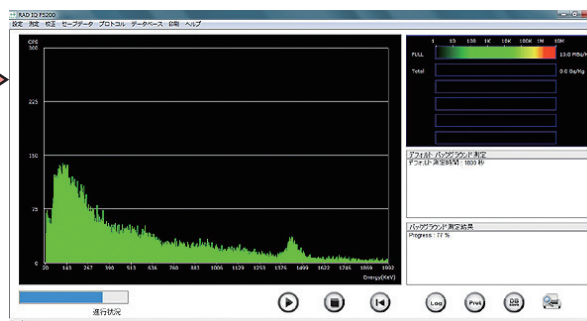
4 【ゲイン補正の実行】

空いた容器を本体にセットします
メインメニューの『校正』をクリックし、『ゲイン補正』を選択して、画面の▶ボタンをクリックします



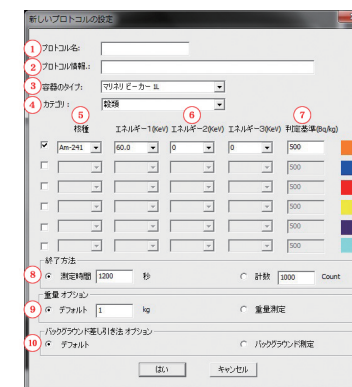
5 【バックグラウンドの測定】

メインメニューの『測定』をクリックし、『バックグラウンド』を選択して▶ボタンをクリックします



6 【プロトコルの設定】

メインメニューの『プロトコル』をクリックし、『プロトコル』を選択します
各項目に入力設定をします



7 【試料の移し替えと重量計測】

持ち込まれた試料を容器に移し替えます
隙間が無いように詰め込みます
重さをはかり、試料のみの重さを計算します



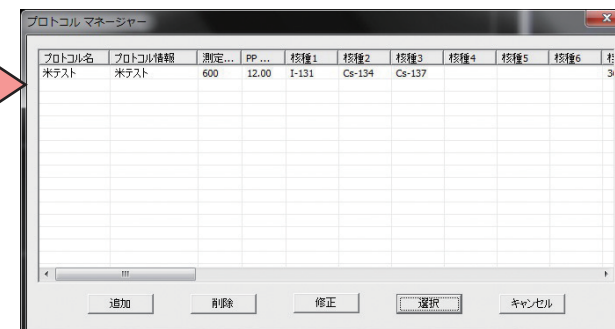
8 【容器のセット】

本体のフタを開けて容器をセットします



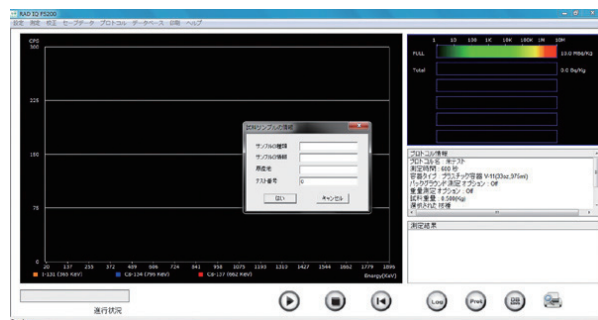
9 【プロトコルの選択】

メインメニューの『測定』をクリックし、『試料サンプル』を選択します
設定済みのプロトコルの行をクリックし、『選択』ボタンをクリックします



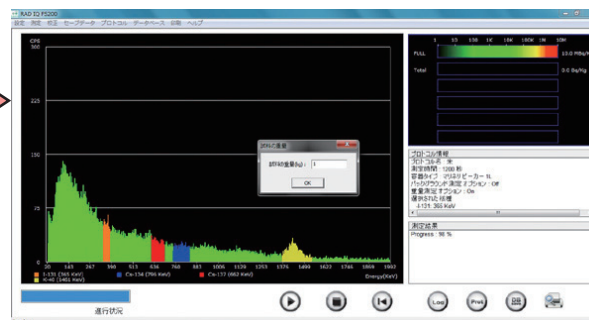
10 【測定】

画面の⏮ ボタンをクリックすると「試料サンプルの情報」欄が表示されるので、各項目に入力して『はい』ボタンをクリックします



11 【試料重量の入力】

測定が終了すると「試料の重量」欄が表示されるので、kg単位で入力し『OK』ボタンをクリックします



12 【測定結果の印刷】

画面のプリンターアイコンをクリックして『印刷』をクリックし、『OK』ボタンをクリックします

